

職員による自己評価

A環境面

3単位で学年や障害特性で分けていることで支援がしやすくなっている。

単位によっては広くないのでスペースを工夫して支援している。

B児童への支援内容

単位ごとに障害特性別に支援を実施している

親御さんや子供達の要望や趣味趣向から支援を組み立てるようにしている

C関係機関との連携

支援学校などは特に情報共有を行っており、保護者にも都度共有するようにしている。

ケース会議や地域連絡会などにも必要に応じて参加し、他サービスなどとも情報共有している。

D保護者への説明責任・信頼関係

連絡帳アプリで写真を毎日ご家族にお送りして、日々の様子をわかりやすくお伝えしている

E非常対応

半年に一回実施し、その様子は親御さんにもお伝えしている。

保護者による評価

A環境面

・スペースが工夫されていて狭さを感じなくなった

B児童への支援内容

・プログラムが多彩にあって楽しんで利用できている

C事業所からの情報発信

・あまり時間は取れていませんが、日々の共有はしていただいている

・年に一度でいいから、保護者同士でお話できる機会がほしい。

・面談の際や送迎時にいつも愚痴まで聞いて頂いている

D非常対応

・マニュアルを見たかどうかわからない

事業所内での分析

【共通点】

日々の支援や行事を評価していただけている。

事業所のスペースの使い方を工夫したことで狭さを解消できた

【相違点】

- ・非常災害マニュアルの確認が不明

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・ 豊富なレクリエーション、外出行事。
- ・ 障害特性に応じたクラス分け、療育プログラムの実施。
- ・ 連絡帳アプリでの情報発信（毎日の写真配布など）
- ・ SNS での配信

事業所の改善点

- ・ 非常災害マニュアルの再配布
- ・ 父母会の実施

事業所の改善への取り組み

- ・ 非常災害マニュアルを再配布したが、新規利用者に配布することが漏れていた。
再度年度替わりに配布し、新規利用者にも忘れずに配布する。
- ・ 父母会を定期的開催する

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

前回いただいた事業所の狭さについては、スペースを工夫することによって解消できた。
なかなかマイナスな意見をいただく機会が少ないので、貴重な機会として今後も捉えて対応していく。

事業所名 アレッタ児童デイサービス弘明寺
担当者 小田倉 美穂